

シグナルマークについて

⚠️警告 - 取扱いを誤った場合に、死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。

⚠️注意 - 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

積載物と積載物の制限について

- | 品 番 | 積載物の制限 (単位=mm) | | |
|-------|----------------|------|-----|
| | 長さ | 幅 | 高さ |
| SA-36 | 4080 | 1150 | 600 |

取扱い上の注意

- 海外使用について**

事故が起きたときは

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718
<http://www.rocky.ne.jp> rocky@rocky.ne.jp

品番 / SA-36 NV350キャラバン・コモ
標準幅・ハイルーフ専用

ご使用前に

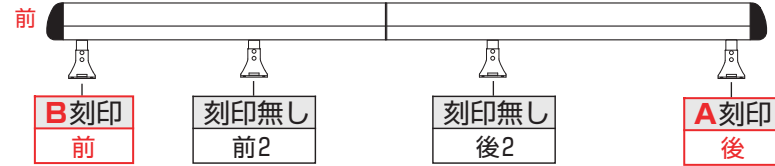
- ## 構成パーツ



組立て方法

- 1 ⑫⑬脚ステーと⑭インナーランプを組付けて3種類(計8セット)の「脚セット」を組立てます。〔図-1〕

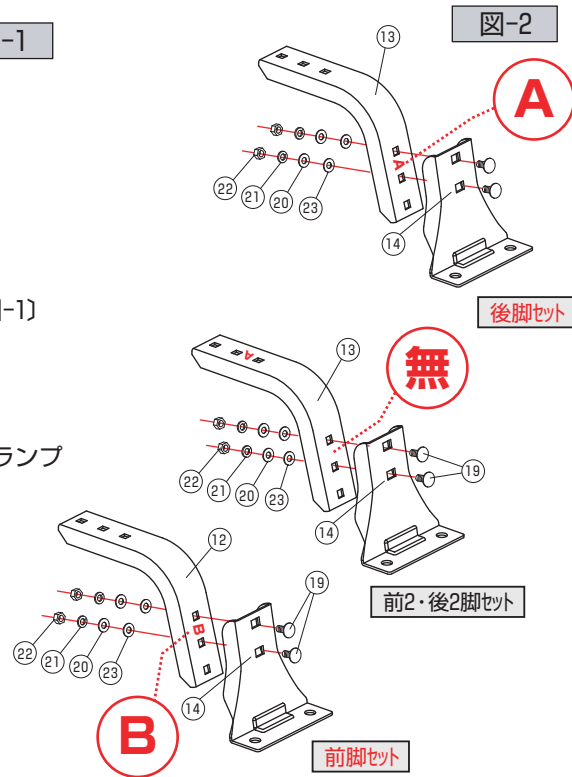
図-1



- ⑫⑬脚ステーと⑭インナーランプを組合せ指示に従って組付けます。〔図-2〕

- ・「**前**」は⑫脚ステー裏側の**B刻印面**の**上2つの角穴**に⑭インナーランプを⑲角根ボルトM6、⑳ナイロンワッシャー、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓六角ナットM6にて図のように仮組付けします。〔図-2〕
- ・「**前2と後2**」は⑬脚ステー裏側の**刻印無し面**の**上2つの角穴**に⑭インナーランプを⑲角根ボルトM6、⑳ナイロンワッシャー、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓六角ナットM6にて図のように仮組付けします。〔図-2〕
- ・「**後**」は⑬脚ステー裏側の**A刻印面**の**上2つの角穴**に⑭インナーランプを⑲角根ボルトM6、⑳ナイロンワッシャー、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓六角ナットM6にて図のように仮組付けします。〔図-2〕

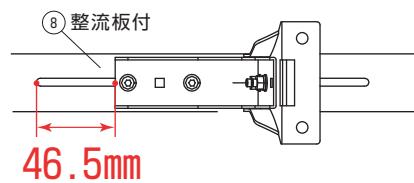
△注意 ⑬脚ステーは反転させて使用します。



- 2 4種類(前/前2/後2/後)の「脚フレームセット」を組付けます。
組付けは⑧⑨脚フレームの中に⑮ナットプレートの向きに注意して通し、「1」で組立てたそれぞれの脚セットを⑮キャップボルトセットM6、㉓ナイロンワッシャーにて下記図の寸法に従って仮組付けします。〔図-3〕

△注意 車両に取付ける際に幅の微調節を行う場合がありますので、この段階では仮組付けにしてください。

前〔脚セットB刻印〕



前2〔脚セット刻印無し〕

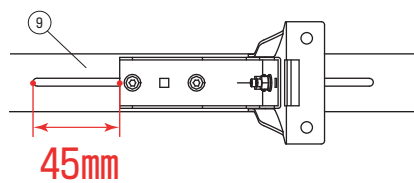
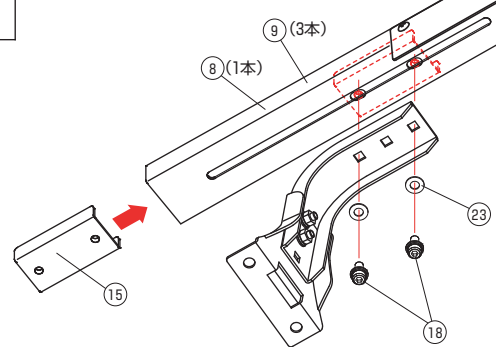
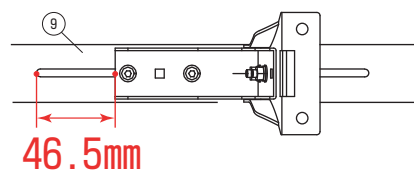


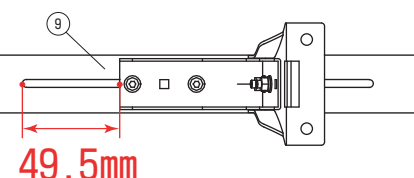
図-3



後2〔脚セット刻印無し〕

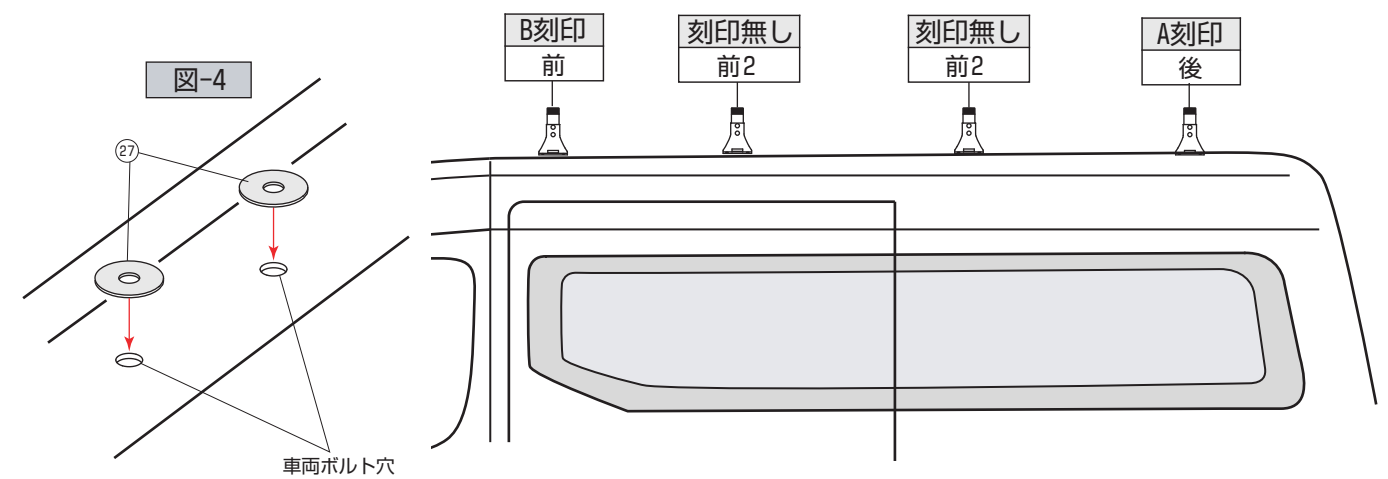


後〔脚セットA刻印〕



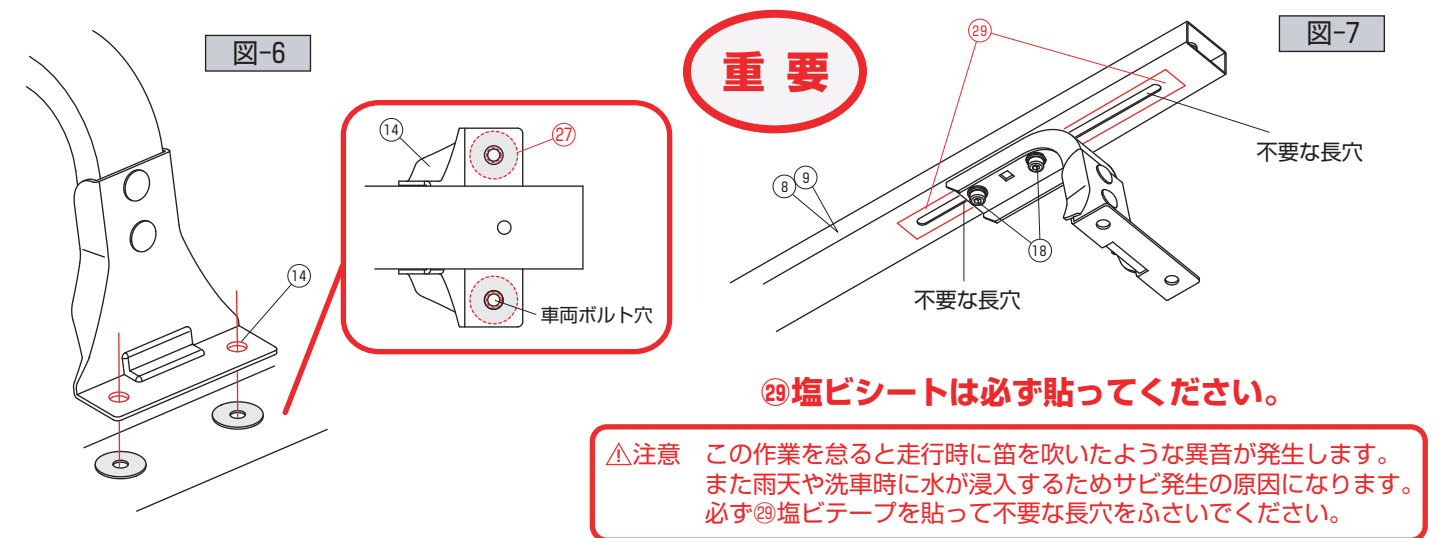
- 3 ここで一度、車両屋根に組付けてある車両ボルトを左右16ヶ所外し、周辺の埃や汚れをきれいに拭き取ります。
車両ボルトを外した穴と㉗防水ゴムシートの穴の中心を合わせ屋根に貼り付けます。〔図-4〕
「組立て方法1.2」で組立てた4種類の「脚フレームセット」を下図指定位置に載せます〔図-5〕

図-5



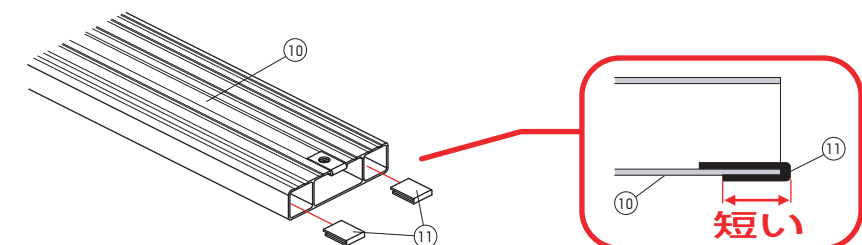
- 4 4種類の「脚フレームセット」の⑭インナーランプの穴と車両ボルトの穴(左右ピッチ)が一致しているかの確認を行います。〔図-6〕
一致した状態を維持しながら、「組立て方法2」で仮組付け状態の⑩キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。
そして一度、「脚フレームセット」を下ろし⑧⑨フレームパイプ裏の不要な長穴を㉘塩ビテープを必要な長さにカットして確実にふさいでください。〔図-7〕

△注意 穴に一致しない場合は再度、⑩キャップボルトセットM6をユルメて穴に一致するように調整を行ってください。



- 5 ⑩デッキフレームの両端下面に⑪ゴムパッキンをはめます。
この時、⑪ゴムパッキン・ベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-8〕

図-8



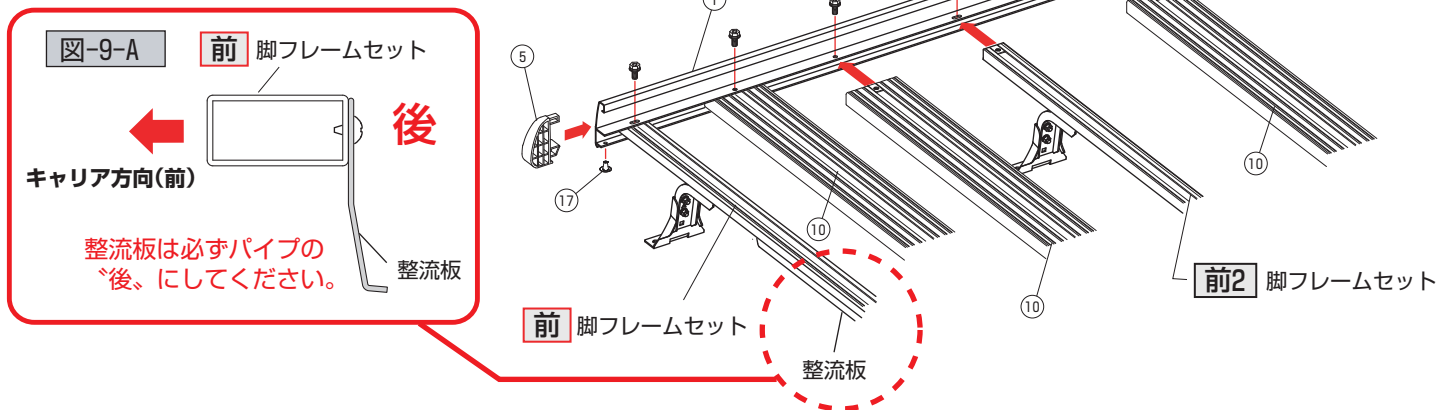
組立て方法②

6 「前用キャリア枠」を組立てます。

①②サイドフレーム短(前/左右)に「組立て方法1.2」で組立てた[前][前2]脚フレームセットと⑩デッキフレーム3本を差込み、⑩+六角ボルトセットM6で組付け、サイドフレーム先端には⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から⑩+タッピングビス5mmで固定します。〔図-9〕この時、`[前]脚フレームセット、を①②サイドフレームに差込む際は`整流板、が必ずパイプの`後、にある状態で差込んでください。〔図-9-A〕パイプの`前、に整流板があると高速走行時に`異音、が発生します。

△注意 ⑩デッキフレームに組付けた、⑪ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず取付けた状態で①②③④サイドフレームに差込んでください。
硬くて差込み難い場合は①②③④サイドフレームと⑪ゴムパッキンに中性洗剤を塗ってから差し込んでください。

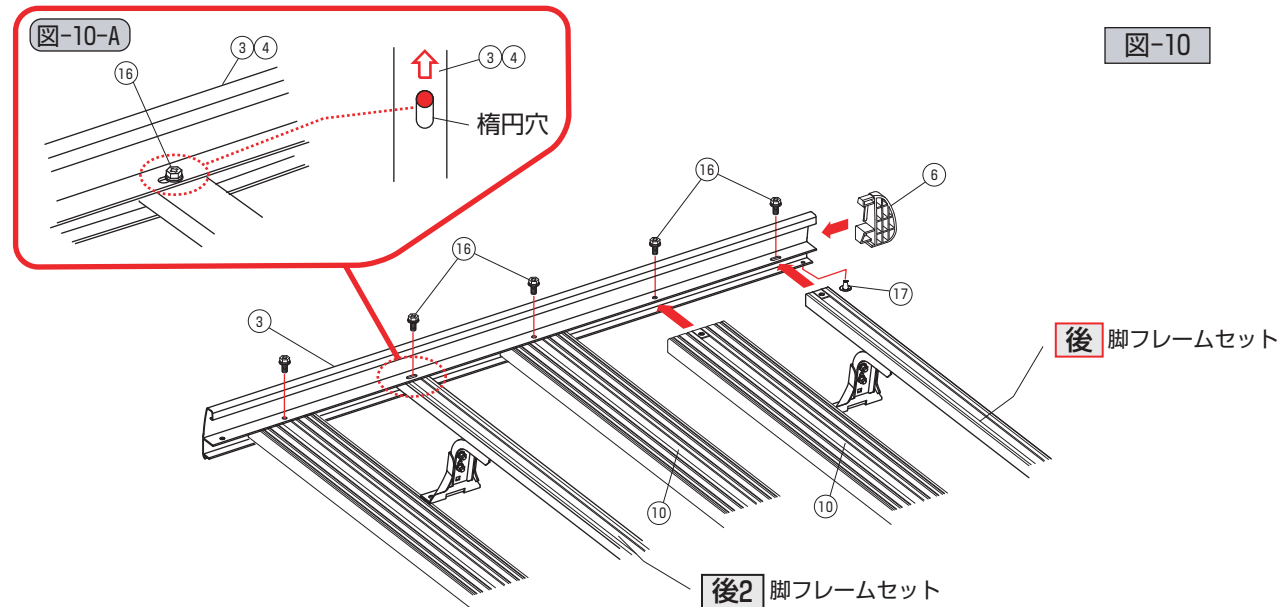
前用キャリア枠



7 「後用キャリア枠」を組立てます。

[6]同様、③④サイドフレーム長(後/左右)に「組立て方法1」[2]で組立てた[後2][後]脚フレームセットと⑩デッキフレーム3本を差込みます。この時、[後2]脚フレームセットは③④サイドフレームの楕円穴の内側(後方寄り)の位置でセットしてください。〔図-10-A〕その後、⑩+六角ボルトセットM6で組付け、先端には⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から⑩+タッピングビス5mmで固定します。〔図-10〕

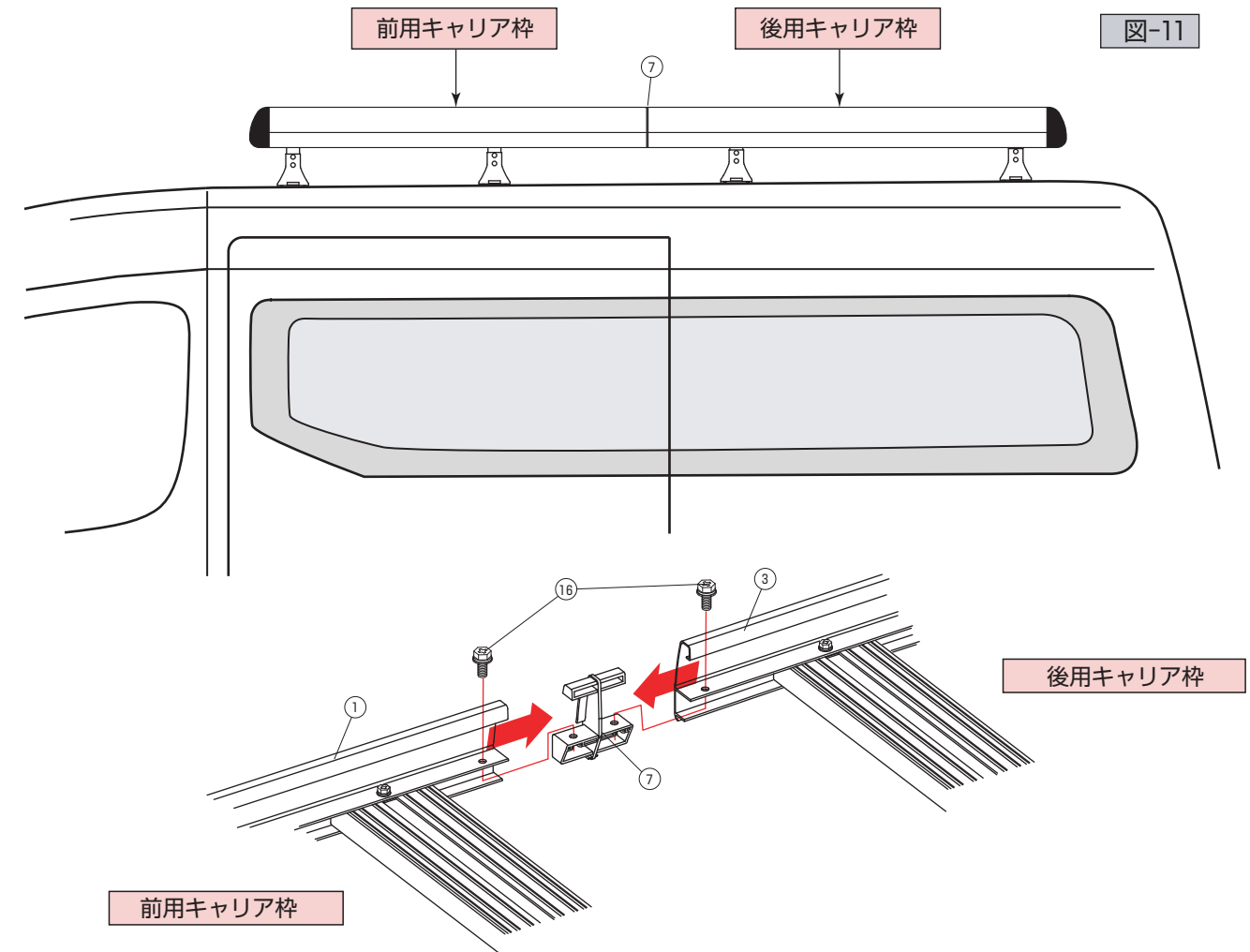
後用キャリア枠



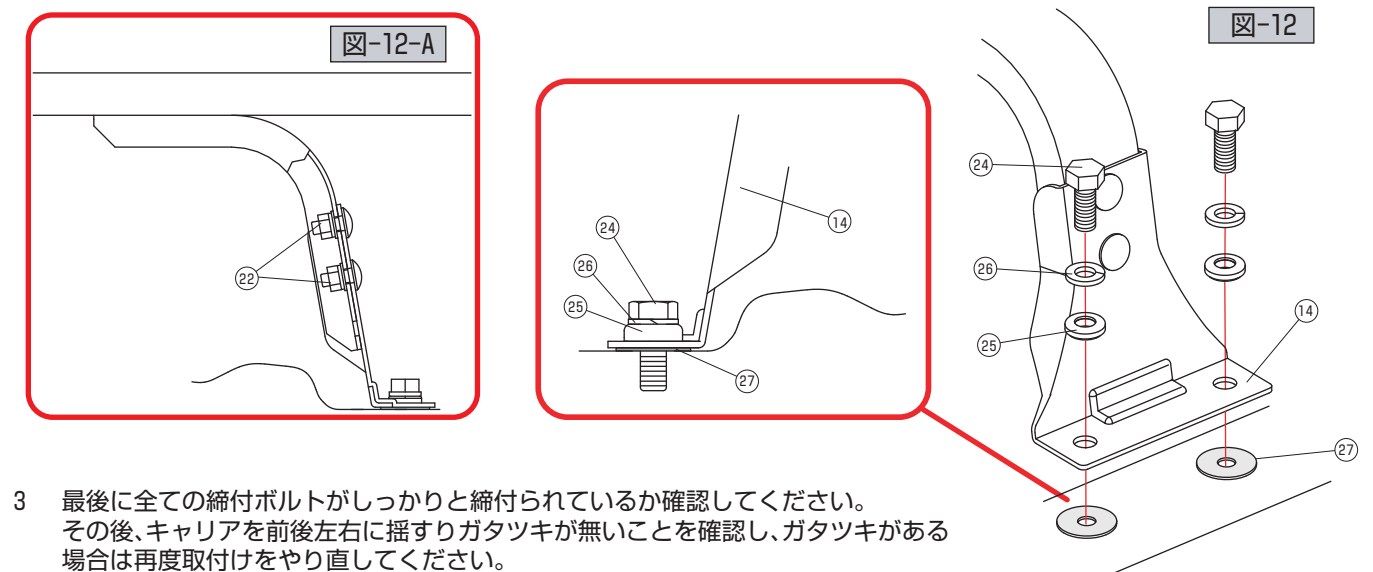
取付け方法

1 「組立て方法②の6.7」で組立てた「前/後用キャリア枠」を1セットずつ屋根の上に載せ、⑦中間ジョイントにて繋ぎ合わせ、⑩+六角ボルトセットM6にてしっかりと固定します。〔図-11〕

△注意 キャリアを屋根に載せる際は必ず4人以上でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください。



2 ⑭インナークランプの穴位置確認後、「組立て方法1」で仮組付け状態の⑭六角ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-12-A〕その後⑭インナークランプの穴に⑭六角ボルトM8、⑭パネ座金M8、⑭シール座金の順で組込みしっかりと締付けます。〔図-12〕



3 最後に全ての締付ボルトがしっかりと締付られているか確認してください。その後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認し、ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。